

令和4年 1月	豊川放水路 愛護モニター報告	モニター区間	放水路:左右岸 0.0km~6.6km 管轄出張所:豊川出張所
実施日	令和 4年 1月 28日	実施区間	放水路:正岡橋から小坂井大橋
<p>今月は 正岡橋から小坂井大橋まで徒歩で移動します。まず 右岸を歩くのですが 午前8時ごろは 車両が多いことにびっくりしました。国道1号線と県道400号線の抜け道になっているようです。のんびり朝の散歩というわけにもいきません。しかし 堤防の上は</p>			
<p>思いのほか見晴らしがよく、北には 新城の新東名の橋脚が はっきり見えます。</p>			
<p>途中 正岡第二樋門と正岡樋門の横を通ると 篠束橋に つきます。しのづかと読みますが これはここから北側の 旧小坂井町の地名です。</p>			
<p>私は 放水路は 豊橋市と豊川市の堺と一致すると思って いましたが 地図をみるとそのような単純な話では ないことがわかりました。ここにも長い間の話がありそうです。</p>			
<p>篠束橋を渡って こんどは左岸を小坂井大橋まで行きます。 小坂井大橋は国道一号線をまたぐ橋です。近くに小坂井高校 がありちょうど 登校の時間でした。大勢の自転車に乗った 高校生と一緒にりましたが それにしては 歩道が狭い とおもいました。近隣で一番最後にできた上渡津橋の歩道は とても広いので その違いに驚きます。 それだけ この橋が古いということですが 地元民の私でも 小坂井大橋を 歩いてわたるのは 貴重 な体験でした。</p>			
<p>今回 私は どこかで 春の兆しが見つかるのではないかと 思いながら歩きました。しかし今年の 立春は2月4日。まだ 少し早かったようですが 周りを見回すと放水路の両側にある田んぼは ほとんど 田起こしが すんでいます。もう 次の田植えに向けての準備が始まっています。</p>			
<p>先回のレポートで書いたように 藤田佳久先生のお話で 昔の東三河の様子を知ったのですが この放水路が 一から築かれたということ を 想像しながら今回歩いてみました。放水路が なく 田んぼが ずっと続くさまは 壮観でしょうが 豊川が 暴れ川だったということは 水害も頻発していた。 想像が どんどん 膨らみます。</p>			
		<p>河川愛護モニター</p>	